

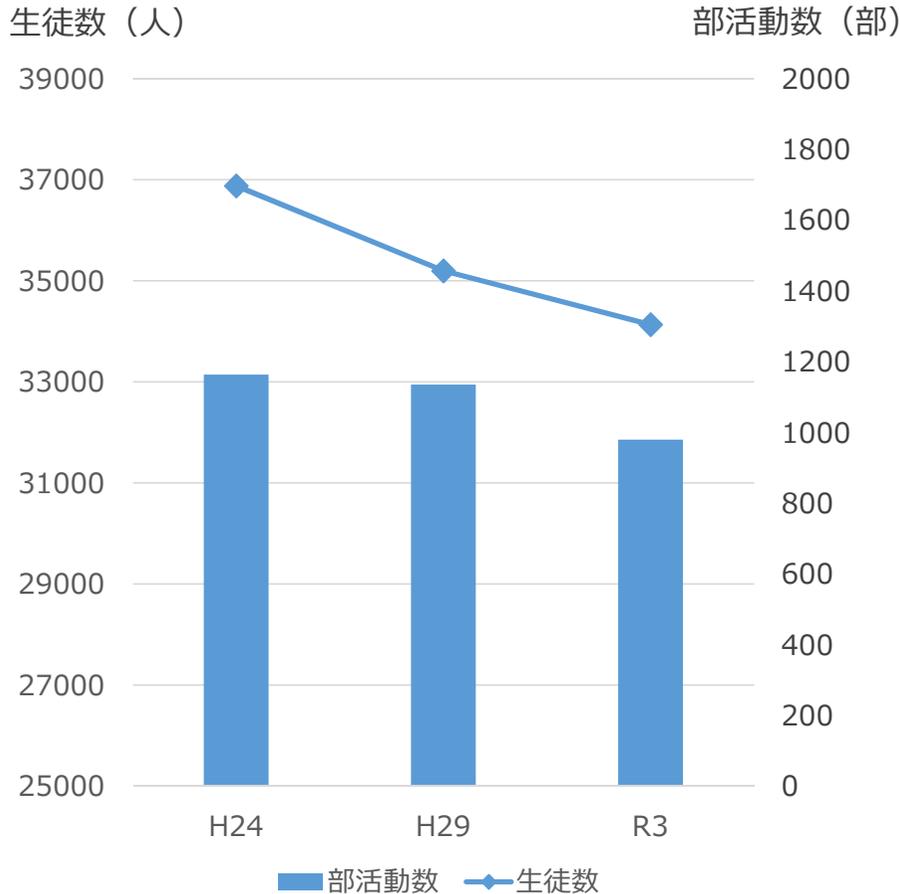
**BE KOBE**

# **教育長会見**

**2022年10月26日**

# 部活動の地域移行に向けて

---



令和4年度 **981部** (運動部696 文化部285) /82校  
約**30,000人**の生徒が活動 ※ 1校当たり平均12部が活動。

## ▶ 生徒数の減少

→ 各校における部活動数の減少

### 部活動の小規模化

(部員が集まらず大会に参加できない、練習ができないなど)

→ 今後、学校単位での部活動 (特に団体種目・活動) の運営維持が困難な状況になることが予想される

現在担当している部活動の経験（R3.11月実施 部活動アンケートより）



▶ **競技・指導経験のない教員が指導せざるを得ない状況**

→ **生徒個々の多様なニーズに応じた指導が困難**（→ 教員にとっても大きな負担）

## ▶ 部活動の地域移行に関する検討会議 提言（ポイント）

- 令和5年度から休日の部活動を段階的に地域移行し、令和7年度中に全都道府県で達成を目指す（改革集中期間：令和5～7年度）
- 移行先は、スポーツ団体や文化芸術団体など
  - （例） 総合型地域スポーツクラブ、プロスポーツチーム、競技団体
- 休日の移行がおおむね達成された後、平日の移行も進めることを想定

## ▶ 部活動指導員の配置（H10～）

	導入校数	部活動指導員	
		外部顧問	外部支援員
令和元年度	82	<b>285</b>	
		79	206
令和2年度	82	<b>274</b>	
		90	184
令和3年度	82	<b>282</b>	
		175	107
令和4年度 (R4.10時点)	82	<b>290</b>	
		188	102

### 外部顧問

学校の平日・休日に関わらず、顧問教員に代わって技術指導を含む部活動運営全般を行う。

### 外部支援員

学校の平日は単独で、休日は顧問教員と協働で、技術指導を行う。

## ▶ 「神戸市立中・義務教育学校部活動ガイドライン」の策定

- 適切な運営のための体制整備

適正な指導者の配置と部活動の設置、部活動指導員の活用など

- 指導力の向上

生徒・顧問教員・外部顧問を対象とした講習会の実施など

- 適切な休養日の設定

週当たり2日以上 of 休養日、1日の活動時間の設定（平日2時間、休日3時間まで） など

## ▶ 拠点校部活動

小学校から続けてきた活動が中学校にないという生徒が、指定する学校の部活動に参加できる。（R4：10種目・36校・343人が参加）

**【課題】 集団種目の大会参加制限、移動時間、  
教員の異動に伴う拠点校の変更**

## ▶ 合同部活動

各校単独でチーム編成できない場合、複数校で合同チームを編成して大会に参加することができる。（R4：3種目・6チームで実施）

**【課題】 移動時間を考慮すると近隣校としかチームを組めない  
教員の負担軽減につながらない**

## ▶ 地域運動部活動推進事業の実施 (R3)

文部科学省(スポーツ庁)が実施する「地域運動部活動推進事業」を活用し、スポーツ事業者への委託による地域移行を見据えた実践研究を実施。  
令和3年度は、**学校単位の部活動**において検証した。

【実施期間】 令和3年10月～令和4年2月

【委託事業者】 リーフラス株式会社

【実施種目】 **中学校5校4種目** (男子卓球、陸上競技、女子ソフトテニス、女子バレーボール)

【成果】

- ・多くの生徒が指導員の指導方法や技術力に満足
- ・多くの顧問教員が負担軽減されたと感じる

【課題】

- ・平日指導者と休日指導者の円滑な連携

## ▶ 地域運動部活動推進事業の実施（R4）

令和4年度は、**複数校の生徒が参加する拠点校部活動（3種目）**において、休日の部活動業務全般を事業者へ委託。

【実施期間】 令和4年10月～令和5年2月

【実施種目】 **バスケットボール**〔委託事業者：株式会社ストークス〕

**硬式テニス**〔委託事業者：株式会社ITC〕

**水泳**〔委託事業者：コナミスポーツ株式会社〕

- ▶ **スポーツ、文化芸術等に親しむ機会**
- ▶ **教科学習とは異なる集団での活動を通じた人間形成の機会**  
責任感・連帯感の涵養、自主性の育成、人間関係の構築  
自己肯定感の向上、信頼感・一体感の醸成 など
- ▶ **多様な生徒が活躍し、生徒の多面性を知る機会**

- ▶ **スポーツ・文化芸術団体等の受け皿**
- ▶ **意欲や専門性を有する指導者**
- ▶ **保護者の経済的負担**
- ▶ **大会の参加資格 など**

## ▶ 部活動の地域移行のあり方検討委員会の設置

本市におけるこれまでの部活動の取組を検証するとともに、今後の部活動の地域移行のあり方について検討する。

### 検討事項

- ▶ 生徒のニーズに応じたスポーツ・文化芸術活動の受け皿・指導者確保のあり方
- ▶ 地域移行に伴う経済的負担のあり方
- ▶ 平日部活動と移行後の休日活動との連携・調整のあり方 など

## 委員（予定） ※敬称略 順不同

BE KOBE

氏名	役職等
浅井 浩之	神戸市吹奏楽連盟 理事長
石塚 大輔	スポーツデータバンク株式会社 代表取締役社長
小坂 美保	神戸女学院大学 体育研究室 准教授
齋藤 勝洋	神戸市立中学校PTA連合会 会長
須藤 晃司	神戸市民文化振興財団 常務理事
中田 進	神戸総合型地域スポーツクラブ 全市連絡協議会 会長
古田 隆	神戸市スポーツ協会 常務理事
森田 啓之	兵庫教育大学大学院 生活・健康・情報系教育コース（保健体育） 教授
赤松 三菜子	神戸市立高倉中学校校長
星 輝幸	神戸市立太山寺中学校校長

- ▶ 令和4年11月10日 第1回検討委員会を開催  
(年間4回程度開催予定)
- ▶ 改革集中期間(～令和7年度)は、継続開催を予定

検討委員会での意見を踏まえ、ワーキンググループを中心に  
関係団体と協議・調整を図り、地域移行の具体化を進めていく。

## 体力向上に向けた新たな取り組み

---

# 体力・運動能力の現状①

◆全国体力・運動能力等調査（スポーツ庁実施）では、実技の結果が全国平均を下回る状況が続いている

令和3年度調査 体力合計点の平均値（8種目/満点80点）

単位：点

	男子			女子		
	神戸市	全国	市－全国	神戸市	全国	市－全国
小学校5年生	51.53	52.53	-1.00	52.45	54.66	-2.21
中学校2年生	39.20	41.05	-1.85	46.01	48.41	-2.40

## 体力・運動能力の現状②

BE KOBE

- ◆一方、児童生徒への質問紙調査では、「運動が好き」、「体育の授業は楽しい」と回答した割合は、全国平均を上回っている
- ◆運動意欲の高さを大切にしながら、体力向上につなげていく取り組みが必要

	小学校5年生			中学校2年生		
	神戸市	全国	市－全国	神戸市	全国	市－全国
運動・スポーツをすることは好きか	89.0%	87.4%	+1.6%	82.4%	81.3%	+1.1%
体育の授業は楽しいか	92.6%	91.5%	+0.9%	88.3%	86.5%	+1.8%

3つの視点を踏まえた取り組みを進める

- ① 運動内容の改善
- ② 運動意欲の向上
- ③ 運動機会の確保

## ◆学習用パソコンを活用した

G I G Aスクール構想×S P O R T S (G I G Aスポ)

## ◆大学生の参加・協力による放課後運動遊び推進事業

# GIGAスクール構想×SPORTS（GIGAスポ）① BE KOBE

- ◆ **学習用パソコン**を活用し、日常的に自分に取り組んだ運動内容や記録を入力・蓄積・確認（**運動の見える化**）できるシステム（※）を導入

※「アーバンイノベーション神戸」の仕組みを活用し、  
民間事業者（Pestalozzi Technology株式会社）と共同開発

# GIGAスクール構想×SPORTS（GIGAスポ）② BE KOBE

目 的：児童の**運動意欲を一層高める**とともに、  
**運動の習慣化**につなげる

対 象：小学校5校（4・5年生約1,200人）で試行実施

開始時期：**令和4年11月～**

- ◆ 放課後の運動場等において、児童と遊んだり、運動用具を準備したりする大学生の運動遊び**サポーターを配置**することで、**運動機会の確保・拡充**を図る

## 放課後運動遊び推進事業②

BE KOBE

開始時期 : **令和4年10月** ※サポーター配置完了校から、順次開始

配 置 : 週1回程度、放課後に大学生（2名）を配置

対 象 校 : **小学校40校程度**で試行実施

※対象学年や曜日等は各学校で決定

## サポーターの役割

運動場等で児童と一緒に鬼ごっこやドッジボールをしたり、新たな運動遊びと一緒に考案したりすることを通して、楽しく遊びながら運動に親しめるよう促す。

〈活動事例〉

バスケットボール バレーボール 手打ち野球

リレー遊び 竹馬 一輪車 なわとび 鉄棒

子供たちと考えた遊びなど

